

現場学習等

※児童の様子は、本校 HP をご覧ください。

【学校日記】

機器	タブレット (LTE, 通信料7ギガ程度), 大型モニター
使用アプリ等	Zoom, Microsoft Teams

令和2年度は、コロナ禍により校外での学習の機会が減少した。そこで、児童の学びを保障するため、オンラインでの現場学習等を実施した。

○現場学習（社会 3年 「きゅうりづくり農家を探検しよう」）

教員は校内での指導担当と、現場での取材担当を位置付けた。校内の指導担当は、教室での Zoom の接続や進行、学習プリントの配付等を行った。現場での取材担当は、LTE 対応のタブレットを用いて映像を撮影したり、きゅうりづくり農家の方へのインタビューを行ったりした。また、校内と現場との連携を図るため、Microsoft Teams を用いて連絡を取り合った。



・行程

見学場所	内容
きゅうりハウス	きゅうりづくりの概要のお話をいただく。 ハウス内を移動し、栽培方法等のお話をいただく。
JA 前橋	取材担当者は移動する。
選果場	ラインの動き、集荷箱の番号等が分かるように、話を聞いたり撮影をしたりする。
配送センター	積まれている箱の行き先や、送られる様子が分かるように、話を聞いたり撮影をしたりする。
産直ゆうあい館	前橋産の野菜が陳列されている様子が分かるように撮影をする。
営農企画課	事前に送付した児童の質問に関わるお話をいただく。

○中学校体験入学会（行事 6年）

本校では、附属中学校に進学する6年生が、中学校の学習や生活の概要を知ることを通して、中学校へ進学するための心構えをもてるように、毎年体験入学会を実施している。本年度は、コロナ禍の影響で、中学校へ訪問するのではなく、オンラインで実施した。



・行程

開会行事	中学校長挨拶、生徒会より中学校の紹介
体験授業	英語、数学
閉会行事	生徒会長挨拶、小学校児童からお礼の言葉

○成果と今後の改善策

現場学習等をオンラインで実施することにより、見学や体験の目的を明確にし、学習内容に焦点化した見学を行うことができた。また、移動や現地での見学における安全面への配慮や、バス代等の必要経費など、運営面においても、現地へ訪れる見学に比べて対応することが減少した。一方で、学習内容の確保や、体験の目的の達成等を行うことができたが、実感を伴った理解や心構えの醸成など、現地を訪れることで得られたはずの経験が乏しくなってしまった可能性も感じた。

今後は、オンラインのよさである現地の方とのコミュニケーションを重視した活動や時間配分の設定など、活動や状況に応じた設定を行っていく。